



2023年6月30日

各位

会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 村山典子
(コード：5277 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 管理課長 西澤智博
(TEL. 03-5689-6311)

上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2023年3月31日時点において、東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準を満たさない状況となりましたことから、下記のとおり「上場維持基準の適合に向けた計画書」を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点における東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。「株主数」「流通株式数」「流通株式比率」については適合しておりますが、「流通株式時価総額」については適合していません。そのため、当社は2026年3月末までに上場維持基準に適合するため、次のとおり取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (億円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (基準日時点)	1,234人	25,893 単位	5.8 億円	27.7%
上場維持基準	400 人	2,000 単位	10 億円	25%
計画書に記載の項目			○	
計画期間			<u>2026年3月末</u>	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの基本方針、課題及び取り組み内容

(1) 基本方針

当社は、「流通株式時価総額」が上場維持基準に適合するよう、2026年3月末日までの期間を設け、事業計画を推進し、その達成を図ってまいります。

また、「株主数」「流通株式数」及び「流通株式比率」は上場維持基準を充たしているものの、自己株式比率が20%あり、事業法人等の株主構成比が高く、取引出来高も低水準であることから、上場維持基準の適合を目的とした「株価」の上昇と「流通株式比率」の増加に取り組むことを基本方針といたします。

(2) 課題

当社の基準日時点の「流通株式時価総額」は5.8億円であり、基準値である10億円に適合するためには、「株価」及び「流通株式数」の改善が必要です。その目標値を「株価」310円（基準日における平均株価225円の37.7%上昇）「流通株式比率」35.0%（基準日における値27.7%）といたします。

「株価」は、安定的な収益の確保により上昇するものと考えております。また、株式の流通につきましては、当社の株主構成は一般法人比率が高く、取引出来高が低調な状況であると認識しております。

このようなことから、「企業業績の向上」「事業法人等保有株式数の縮減」に取り組むことといたします。

(3) 取り組み内容

① 営業利益の確保

当社を取り巻く建設業界の環境は非常に厳しい状況にあります。他社製品との価格競争激化による大型案件失注や、コロナ禍の影響による案件着工遅延や計画延期、原材料費高騰による製造原価上昇、輸送に係るエネルギーコスト等の高騰など、苦戦を強いられています。

当社は、3年間を期間とする中期売上利益見通しを策定しております。しかし、出荷延期、中止等により、見通しは依然不透明な状況にあり、同計画の公表には至っておりません。

製造部門においては、品質管理を維持したうえで、労務費の変動費化による製造コスト削減と工場利益確保を目的とした生産体制の効率化への取り組みを推進します。

営業活動においては、新規顧客への開拓を継続し数値目標計画を確実に達成すると共に、低コストの輸送方法の策定、お客様へご理解頂いたうえでの価格改定による利益率の改善に注力します。

② I R活動の取り組み

当社におけるI R活動は、毎年のI R誌の発行に留まっております。当社経営の現状や取り組みが投資家の皆様に必ずしも十分に伝わっていない状況であることを認識し、まずは、当社ホームページのI R情報の充実を図ると共に、今後は、株主様向けの企業説明会や決算説明会の開催も視野に入れ、I R活動の活性化を検討してまいります。

③法人が保有する株式の売却推進

当社は、法人株主の比率が39%と高いことが、流通株式比率の低下要因となっております。法人株主の一部には、安定株主の確保を目的として取引先に保有を依頼した株式があります。今後は、株価に与える影響を考慮しながら中長期的に、保有取引先企業に対して売却を働きかけ、流通株式数の増加を図ってまいります。

以 上